

第2期岡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）への
ご意見募集（パブリックコメント）の結果について

1. 意見募集の概要

(1) 募集期間

令和2年12月28日（月曜日）から令和3年1月27日（水曜日）まで

(2) 閲覧場所

政策企画課、情報公開室、各区役所・支所・地域センター、各公民館、
各ふれあいセンター、岡山市ホームページ

(3) 意見提出方法

電子メール、ファクス、郵送、持参、岡山市ホームページ入力フォーム

(4) 意見提出先

岡山市政策局政策部政策企画課

2. 意見募集の結果

意見数 15件

<内訳>

区分	意見項目数
計画全体	2
総合戦略の基本的な考え方	0
目指す方向と具体的施策	13

3. 意見の概要及び意見に対する市の考え方

別紙のとおり

意見の概要及び意見に対する市の考え方

No.	該当箇所		意見の概要	意見に対する市の考え方
1	計画全体	—	同時期に出している6次総合計画とほとんど同じような内容。大事なものは計画より、実行すること。どれくらいの人件費がかかっているのかわかりませんが、計画はより包括的に簡素化し、実行部隊にマンパワーを使うべき。	第2期岡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略は、上位計画である岡山市第六次総合計画後期中期計画と整合性をとりながら、人口減少対策にしぼって施策・事業を抜き出して再整理し、より簡素化した下位計画です。 計画の実行については、地方創生推進交付金等を活用しながら、全庁一体となり、着実に推進していきます。
2	目指す方向と具体的施策	基本目標2	お試し住宅など、コロナ禍を想定した、在宅ワーク専用の住宅支援などほしい。	基本目標2の「(1) ①相談体制や移住・定住への支援等」に『テレワーカーの移住への支援』を加えて取り組んでまいります。
3	目指す方向と具体的施策	基本目標4、参考資料	西日本豪雨災害後なので、都市づくりの基本方針の中で(8)の災害に強い安心安全なまちづくりの強化がもっと指針に欲しい。	基本目標4の「(4) 安心して暮らせる地域づくり」に安心安全なまちづくりについて記載しており、今後も引き続き取り組んでいきます。
4	目指す方向と具体的施策	基本目標4	「コンパクトでネットワーク化された活力あふれるまちづくり」に期待しています。「居住や都市機能を誘導する区域」を公共交通ネットワークで結ぶ前に、その区域に図書館や公園など、核になる場所があれば、高齢者でも日常的な楽しみや集いが充実すると思います。駅前やまちなかについては若者向けの賑わいが中心になるように思います。また、アフターコロナの世界で、どれだけ元に戻れるかもわからないので、駅前やまちなかの賑わいについては、今のところは、ゆる〜く考えていた方が良くもかもしれません。	基本目標4の「(1) ①計画的なまちづくりの推進」に記載している『岡山市立地適正化計画』では、都心や周辺地域の拠点に都市機能誘導区域を定め、それらの区域に医療・福祉・商業といった生活サービス施設の誘導を図ることとしており、これにより、コンパクトでネットワーク化された活力あふれるまちづくりを進めていきたいと考えています。
5	目指す方向と具体的	基本目標4	東京都足立区大谷田 1-1 に「読む団地」というスタイルで日本総合住生活株式会社様が賃貸住宅を提供されてい	ご意見につきましては、今後、地域の魅力を高める取組を検討する上での参考とさせていただきます。

	施策		<p>ます (https://yomu-danchi.com/) が、市営住宅や老後の住居空間として、こういった施設があると地域の魅力 UP につながるかと思います。ご一考いただければ幸いです。</p> <p>近くに農地などがあって「重くない農業」を学べると、更に魅力的かと存じます。</p>	
6	計画全体	—	<p>全体を通じて「障害者」の文字が見えず、障害者問題にどう取り組むのか解らない。障害者問題も少なくとも「高齢者問題」と同等にして、まちづくり・地域づくりに織り込んで欲しいものです。このままでは岡山市では、障害者の存在感がなく、ヴォルフェンスベルガーの言う「Death - Making」そのものになってしまいます。</p>	<p>基本目標 1 に障害者への取組も含まれていましたが、支援の対象をわかりやすくするため、基本目標 1 の「(4) 地域の活力を担う人材の育成・確保」に『障害者』の記載を追加しています。</p>
7	目指す方向と具体的施策	基本目標 3	<p>子育てパパ・プレパパ応援事業の拡充(定員増加、実施日増加、キャンセル待ちの受付)</p> <p>現在、妊娠 7 か月の初妊婦です。新型コロナウイルスの影響で、病院や民間での両親学級や母親学級が軒並み中止もしくは縮小、またオンライン上での受講となっています。夫婦共働きで、お互いに育児未経験のため、沐浴など産後の具体的な育児方法を実際に体験できる場はとても貴重だと感じています。上記の事業は 2 か月おきに 2 日間ずつ実施をしてくださっていますが、数日で定員が埋まっているようです。ぜひ次回の実施日から、定員の拡充や回数の増加をご検討ください。夫婦で共通の育児の知識が持てておらず、とても不安です。よろしく申し上げます。</p>	<p>ご意見につきましては、今後の施策・事業の参考とさせていただきます。</p>
8	目指す	基本目標	産後母子支援事業として新生児給付	コロナ禍の厳しい環境下で出産され

	方向と 具体的 施策	標 3	<p>金(1回10万円、もしくは半年間毎月2万円程度)の創設</p> <p>妊娠7か月の初妊婦です。新型コロナウイルスの影響もあり、産後は新生児を連れて外部施設(地域子育て支援センターなど)に出向いて情報を得ることが難しく、在宅育児のニーズが高まっています。夫婦共働きのため、産後の日中は一人で育児を行いますが、買い物や家事もあり、産後うつが不安です。産後すぐ、もしくは半年間だけでも、給付金という名目で直接支援があると、通販や家事代行を利用しつつ在宅で育児に専念できます。他都市では給付金創設が始まっているので、ぜひ岡山市も続いていただきたいです。</p>	<p>た世帯の苦労をねぎらい、令和2年4月28日から令和3年4月1日までに生まれたお子さんの誕生をお祝いし、育児と健やかな成長を支援する主旨で「新生児子育て応援金」事業を創設しました。令和2年4月28日から令和3年4月1日までに生まれた場合で申請者、対象児ともに出生から申請時まで引き続き岡山市に住民登録のある人が対象であり、対象児1人あたり3万円を支給します。対象となる方には市から申請書をお送りいたします。</p>
9	目指す 方向と 具体的 施策	基本目 標 1	<p>後樂園や岡山城など市内中心部の歴史的な資産はもとより、西大寺や足守、庭瀬・撫川地区など周辺部に残る伝統的な建築物や歴史的な資産をも再度検証し、歴史・文化に培われた魅力的なまちを創造し、岡山市全域を楽しんで探訪できるような「歴史文化都市」の形成が必要。</p>	<p>岡山市域は、かつて吉備の国と呼ばれ、歴史・文化的に大変栄えていたと考えられ、市内各所に数多く存在する歴史・文化資産は、岡山市の強みであると認識しており、ご意見も踏まえて、基本目標1の「(2) ①観光の振興と情報発信力の強化」に『岡山市の強みである歴史・文化資産を掘り起こして、新たな観光資源として磨き上げ、魅力を高める』と記載を追加しています。</p>
10	目指す 方向と 具体的 施策	基本目 標 4	<p>アフターコロナを見据えた都市戦略として、国内外から選ばれる都市になるためには、岡山市の大きな強みの一つである“交通の要衝”としての優位性をさらに高める必要があり、路面電車の延伸や環状化の推進のほかにも、岡山市の中心市街地と岡山空港を結ぶ新交通システムの導入や中心市街地と瀬戸内海を結ぶ海上交通の活性化など、快適に移動しやすい交通体系を構築し</p>	<p>基本目標4の「(1) ②公共交通の維持・確保」に記載している『岡山市地域公共交通網形成計画』では、施策の方向性として、都市全体を見渡した効率的・合理的な公共交通網の形成、利用環境の改善による利用促進、交通が不便な地域における安定的な公共交通の確保を上げており、その方向性に沿って快適に移動しやすい交通体系を構築していきたいと考えています。</p>

			ていくべき。	
11	目指す方向と具体的施策	基本目標1	コンベンション誘致の推進にあたっては、コロナ禍を踏まえ、リアルとオンライン同時に開催できるような「ハイブリッドコンベンションシティ」の実現を推進していくべき。	産官学連携による誘致・開催体制をさらに強化するとともに、ハイブリッド型コンベンションをはじめ多様な開催形態への対応実績を強みとして、様々なコンベンション主催者へ情報提供することにより、地元でのコンベンション誘致を促したいと考えており、ご意見も踏まえて、基本目標1の「(2) ③コンベンション誘致の推進」に『多様な開催形態への対応を強みとして』と記載を追加しています。
12	目指す方向と具体的施策	基本目標1	グローバル化の観点から、「外国人居住者にもやさしいまち」の実現を図るには、外国人の就労や留学を支援するため、企業、教育機関や医療機関における外国人対応の推進の支援も必要。	基本目標1に外国人への取組も含めていましたが、支援の対象をわかりやすくするため、基本目標1の「(4) 地域の活力を担う人材の育成・確保」に『外国人』の記載を追加しています。
13	目指す方向と具体的施策	基本目標4	岡山市が活力と魅力にあふれる都市になるには、シンボルとなる都心が「緑豊かで人にやさしい、歩いて楽しいまち」であることが必要と考える。中心市街地の緑化比率を高めるとともに、主な道を愛称で呼ぶなど、街への愛着を高める取り組みが必要。	中心市街地の桃太郎大通り、市役所筋、県庁通り等の7路線については、街路樹の質の向上、緑のボリュームアップを図る取組により、緑化比率を高めることとしています。また、主な道路についてはすでに愛称で呼んでいます。
14	目指す方向と具体的施策	基本目標4	トップチーム支援事業の観点からも、利用者が多く、手狭になっている市内スポーツ施設の拡充や新たな整備も進めるべき。	基本目標4の「(1) ⑤文化芸術施設等を拠点とした文化振興やスポーツによる活力の創出」では、トップスポーツチーム支援として、「市民デー」の開催、「職員の名刺へのチームロゴの掲載」、選手が小学校で交流する「給食交流事業」等に取り組んでおり、今後も各チーム、選手等のご意見を伺いながら積極的に取り組んでいきます。 スポーツ施設につきましては、計画的な整備や適切な維持管理等を進めることとしています。

15	目指す方向と具体的施策	基本目標3	市民の健康づくり、とりわけ女性が輝くまちづくりの推進には、前提となる女性の健康づくりの観点からの施策が必要。	基本目標3の「(3) ワーク・ライフ・バランスと女性の活躍推進」では、女性の健康づくりを含め、市民がいきいきと暮らしていけるよう、健康づくりの環境整備等に努めていきます。
----	-------------	-------	--	---